



地域での助け合いを進めるために

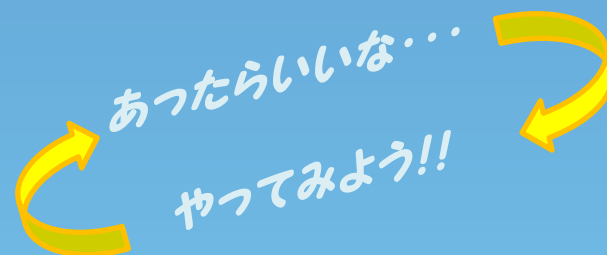
吹田市では、吹田市社会福祉協議会に委託し、広域型生活支援コーディネーターを配置しています。

広域型生活支援コーディネーターは、多様な団体と連携・協働して高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、高齢者の社会参加、生活支援・介護予防などを、住民が主体的に助け合って取り組めるようサポートします。



広域型生活支援コーディネーターの役割

- 吹田市高齢者生活支援体制整備協議会の運営
 - ・多様な団体と高齢者の生活支援体制整備について協議し、必要な仕組みづくりを行います。
- 既存の社会資源の把握とネットワーク化
 - ・既存の生活支援サービスや高齢者の活動場所の情報を収集し、ネットワーク化します。
- 生活支援ニーズの把握や、新たな地域活動、担い手の創出 など。



高齢者が暮らしやすい まちのつくり方

～みんなで取り組む 支え合いのまちづくり～



社会福祉法人

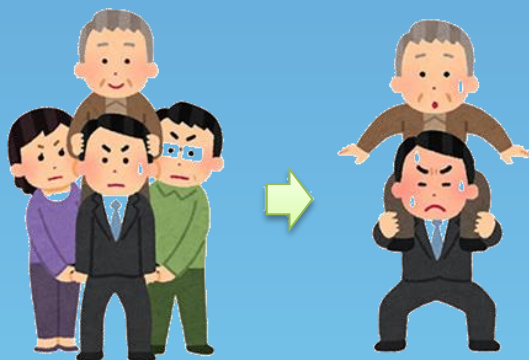
吹田市社会福祉協議会

〒564-0072 吹田市出口町19-2

TEL :06-6339-1254 FAX :06-6339-1202

E-mail:suisyakyo@mua.biglobe.ne.jp

1. 今後、高齢者が増加していきます。



高齢者人口の増加+若者人口の減少で、高齢者を支える環境が変化します。

2. 高齢者も、色々な思いを持っています。

高い場所の電球を交換するのが大変…。

自宅でTVばかり…。

ひとりでの食事が多くて…。

手伝えることがあれば言ってね。頑張るよ！

サロンにたくさん参加してくれたらいいのにね。

若い頃から日曜大工が好きでなあ。簡単なことだったらできるよ！

3. 高齢者の思い、まちの課題などを把握します。

地域の課題・特徴を把握します。

既存の公的サービスや地域で取り組まれている住民活動などを把握し、ネットワーク化します。



4. みんなで共有し、必要な仕組みを考えます。



把握した情報を元に、地域みんなで意見を出し合い、検討する場を持ちます。

「地域で助け合う仕組み」を考え、出来ることから取り組みます。

5. 人は「必要とされていることを必要」として

としています。

地域で役割を担うことで、介護予防にもつながります！